



豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.122)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご報告

豊田PCB廃棄物処理施設では毎年春期と秋期に2回の定期点検を行っています。これはPCB廃棄物の処理能力の維持と操業の安全を確保するためにとっても重要な業務です。

平成26年度春期定期点検は4月29日(火・祝)～5月23日(金)までの25日間で実施しました。



●災害防止協議会の開催

定期点検開始に先立ち、作業を実施する各社の担当者が一堂に会して4月21日(月)に「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検期間中の作業において事故や災害を決して発生させないことを目的に開催しており、基本的なルールや安全対策などを確認しました。

また、5月13日(火)には災防協安全パトロールを行い、安全に作業が行われているか、更なる改善事項がないかを作業現場で確認しています。

●主な定期点検実施内容

この春期定期点検で実施した保守点検のうち、以下の2つをご紹介します。

・熱媒ボイラ点検整備

蒸留設備他、施設内の各プロセスの熱源となる熱媒油を供給するためのボイラです。

今回は損傷や劣化の有無等の点検に加え、更新時期となった熱媒ボイラ用送風機を大型クレーンを用いて交換しました。

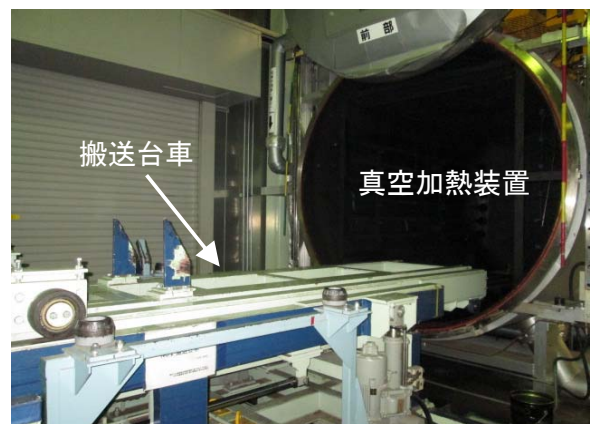
(写真は送風機交換作業の様子です)



・搬送台車点検整備

コンデンサの素子等含浸物内に微量に残ったPCBを揮発させて除去する真空加熱装置に素子の入ったカゴを投入・取り出しするための自動搬送台車です。

今回は動作状況や損傷有無等の点検に加え、カゴを乗せた台を動かすための搬送台車の内部車輪を交換しました。



2. 豊田市中根自治区見学会



5月10日(土)、中根自治区役員の皆様(14名)に豊田PCB廃棄物処理施設をご見学いただきました。

豊田事業所長による事業概要の説明や豊田施設紹介DVDをご視聴いただくとともに、作業者の安全を確保するための防護服をご覧いただきました。

中根自治区の皆様からは、施設の安全対策等について多くのご質問をいただきました。その質疑応答を通してPCB処理に関する理解を深めていただけたものと思います。

3. 保護具装着インストラクター認定講習

豊田PCB廃棄物処理施設では、解体及び洗浄エリア(レベル3及び特別管理エリア)への入室の際に作業者のPCBによる汚染防止のため、決められた保護具を装着して入室し作業を行っています。

そのため、定期的に保護具装着インストラクター認定講習を行い、「PCBに汚染されない」「PCB汚染を広げない」ための正しい保護具装着方法を習得しています。

今回はJESCOや運転会社の新人など15名が講習を受けました。



PCB処理事業紹介シリーズ 第6回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設の中央制御室をご紹介します。



豊田施設の頭脳ともいうべき場所で、各設備を分散型制御システム(DCS)を用いて24時間監視、制御しています。

また、施設内に21箇所カメラを設置し、ITVモニターで作業状況を確認しています。

その他、機械警備や消火設備などの管理も行っています。

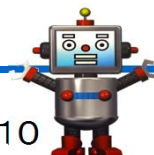


アザラシのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸